

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

頭部外傷症例の予後不良因子を明らかにする研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部 脳神経外科学系神経外科学分野 ・ 山室 俊

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 8（西暦 2026）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

2014 年 1 月 1 日 ～2024 年 12 月 31 日の間に日本大学医学部附属板橋病院で頭部外傷（脳挫傷、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫）に対し、入院して治療を受けた方。

＜研究の目的＞

頭部外傷には、脳挫傷、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫などの疾患が含まれ、発症した方の多くが救命目的に緊急手術（開頭血腫除去術）を受けます。しかし、その予後は決して良好とは言えず、手術を受けた患者でも、予後が不良となってしまうことが少なくありません。また、搬送時には手術適応がない場合でも、その後に状態が悪化し、手術加療が必要になる方もいます。本研究は、搬送時の患者様情報の中から不良な予後と関係するものを特定し、予後をある程度予測できるようにすることを目的としています。

＜研究の方法＞

患者様情報を診療録から収集し、予後との関連を調べます。患者様情報として、診療録から年齢、性別、疾患名、CT 画像所見、血液検査データ、痙攣発作の有無、予後（経過）を収集します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

診療録に記載された臨床情報、CT 画像所見、血液検査データを用います。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

脳神経外科学系神経外科分野 氏名：山室 俊

電話：03-3972-8111 内線：（医局）2481 （PHS）8225

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方